

1 届出について

(1) 特定給食施設

健康増進法第20条第1項及び第2項の規定に基づき、届出書の提出が必要です。（P2参照）
豊中市ホームページからダウンロードして作成のうえ、豊中市保健所に提出してください。豊中市電子申込システムに直接入力して提出することもできます。

特定給食施設開始届出書（様式第1号）（P38～39参照）

届出者 住所・氏名・電話番号	設置者の住所（法人の場合は主たる事務所の名称と所在地）、氏名（法人の場合は代表者の職名、氏名）、電話番号を記入する。 ※ 公的な施設の設置者は、知事又は市長等とし、住所は役所（本庁）所在地とする。
給食施設の名称	施設名（正式な名称）を記入する。
給食施設の所在地	所在地を記入する。
給食施設の種類	学校・病院・介護老人保健施設・介護医療院・老人福祉施設・児童福祉施設・社会福祉施設・事業所・寄宿舍・矯正施設・自衛隊・一般給食センター・その他の該当種別を記入する。（P2参照）
給食の開始 （開始予定）日	給食を開始した（する）年月日を記入する。
1日の予定給食数 及び各食の予定給食数	・3食提供施設は届出時の平均的な朝・昼・夕食ごとの食数を記入する。1食提供施設は届出時の平均的な食数を記入する。 ・その他の欄には、夜食等を記入する。（間食は含まない。）
管理栄養士の員数	届出時の管理栄養士の員数を記入する。（委託を含む常勤者数）
栄養士の員数	届出時の栄養士の員数を記入する。（委託を含む常勤者数）

特定給食施設届出事項変更届出書（様式第2号）（P40～41参照）

変更年月日	届出事項に変更が生じた年月日を記入する。
変更項目	届出事項に変更が生じた項目を記入する。
変更内容（変更前）	変更が生じた項目について、変更前の内容を記入する。
変更内容（変更後）	変更が生じた項目について、変更後の内容を記入する。

特定給食施設休止（廃止）届出書（様式第3号）（P42～43参照）

給食の廃止年月日	給食を廃止した年月日を記入する。
給食の休止予定期間	給食を休止する予定の期間を記入する。
休止（廃止）の理由	給食休止（廃止）の理由を記入する。

(2) その他の給食施設

豊中市では、豊中市給食施設栄養管理実施要領に基づき、「その他の給食施設」においても、特定給食施設と同様の事項について届出の協力をお願いしています。（P38～43参照）

また「小規模等給食施設」においても、小規模等給食施設名簿への記載願の提出の協力をお願いしています。（P44～47参照）

(3) 届出事項等現況確認票及び送信票

豊中市では、年に1回、届出書記載状況について確認の協力をお願いしています。（P48～49参照）

特定給食施設等開始届出書

年 月 日

豐中市長

給食施設の設置者 [法人にあっては、主たる事務所の名称及び代表者の氏名]

名称：

住 所：

氏 名：

健康増進法第20条第1項および豊中市給食施設栄養管理実施要領第3条第3項の規定により、次のとおり特定給食施設等に係る事業の開始を届け出ます。

給食施設の名称				
給食施設の所在地	〒			
給食施設の種類 （該当欄に☑または ■を入れてください）	☐ 学校 ☐ 病院 ☐ 介護老人保健施設 ☐ 介護医療院 ☐ 老人福祉施設 ☐ 児童福祉施設 ☐ 社会福祉施設 ☐ 事業所 ☐ 寄宿舍 ☐ 矯正施設 ☐ 一般給食センター ☐ その他（ ）			
給食の開始日 または開始予定日	年 月 日			
1日の各食ごとの 予定給食数	朝食	昼食	夕食	その他
	食	食	食	食
管理栄養士の員数	人			
栄養士の員数	人			

届出 担当者	部署名	
	担当者名	
	電話番号	
	メールアドレス	

**注意）この届出書は、健康増進法によるものです。
食品衛生法上の手続きがまだの場合は、健康危機対策課
食品衛生係にご相談ください。**

記入例

特定給食施設等開始届出書

豊中市長

①

令和8年 4 月 15 日

②

給食施設の設置者 [法人にあっては、主たる事務所の名称及び代表者の氏名]

名 称： 社会福祉法人 ○○会
住 所： 豊中市中桜塚4-11-1
氏 名： 理事長 豊中花子

健康増進法第20条第1項および豊中市給食施設等管理栄養士実務要領第3条第3項の規定により、次のとおり特定給食施設等に係る事業の開始を届け出ます。

③

給食施設の名称	(杜福) ○○会 とよなっカメこども園			
給食施設の所在地	〒 561-0881 豊中市中桜塚4-〇〇-△			
給食施設の種類 (該当箇に☑または ■を入れてください)	☐ 学校 ☐ 病院 ☐ 介護老人保健施設 ☐ 介護医療院 ☐ 老人福祉施設 ☒ 児童福祉施設 ☐ 社会福祉施設 ☐ 事業所 ☐ 寄宿舎 ☐ 矯正施設 ☐ 一般給食センター ☐ その他 ()			
給食の開始日 または開始予定日	令和8年 4 月 1 日			
1日の各食ごとの 予定給食数	朝食	昼食	夕食	その他
	食	200 食	食	食
管理栄養士の員数	2 人			
栄養士の員数	0 人			

①この届出書は、開始日から1か月以内に提出してください。

②設置者とは、当該施設を設置した最高責任者（理事長、代表取締役、知事、市長、教育長など）のことです。開始届提出時点の設置者名で記入してください。

③施設の正式名称で記入してください。

④【食数について】
定員近くの食数を提供している場合は定員、定員がない又は定員と大幅に異なる食数の場合は予定食数、病院は病床数。
職員食を提供している場合は職員食の予定数を加えた数で提出してください。
・間食は食数に含みません。
(その他欄には、夜食などが含まれます)
・経管栄養は食数に含みます。

⑤施設内に勤務する常勤（労働時間週32時間以上等）の人数を記入します。委託業者で施設内で勤務する人数も計上します。栄養士、管理栄養士以外の職名で採用されているが、その資格を有して実際に栄養指導に従事している者も計上します。

届出 担当者	部署名	とよなっカメこども園
	担当者名	豊中 桜子
	電話番号	06-6858-〇〇〇〇
	メールアドレス	toyonakKame@city.toyonaka

豊中市保健所では、できるだけ多くの給食施設を把握するため原則以下のような取り扱いとしています。

◆厨房を複数の施設で共有している場合

- ・各施設ごとに給食事業を管理運営しており、各々が特定給食施設またはその他の施設に相当する食数を提供する場合は、それぞれ別の施設として開始届を提出する。
- ・施設ごとの給食数が1回50食または1日100食に達しない場合でも、全施設の食数を合算することでその他の給食施設以上の規模になる施設は、特定給食施設またはその他の給食施設として開始届を提出する。（欄外にそれぞれの食数がわかるように記入してください。）

◆特定給食施設、その他の給食施設が複数の対象に少数の食事を提供している場合は食数を合算する（欄外にそれぞれの食数がわかるように記入してください。）

- ・特別養護老人ホームが老人短期入所事業（ショートステイ）や老人デイサービス事業を実施している場合
- ・介護老人保健施設が通所リハビリテーション事業を行っている場合
- ・届出給食施設が系列の施設等に給食を提供している場合

◆利用者の特性が明らかに異なる場合は、それぞれ別の給食施設とを考えます。

- ・同じ厨房からこども園と老人ホームに給食を提供している場合
(こども園と老人ホームそれぞれの食数で考える)

特定給食施設等届出事項変更届出書

年 月 日

豊中市長

給食施設の設置者〔法人にあっては、主たる事務所の名称及び代表者の氏名〕

名 称：

氏 名：

健康増進法第20条第2項及び豊中市給食施設栄養管理実施要領第3条第3項の規定により
次のとおり届け出ます。

給食施設の名称 (申請日時点の名称)	
変更日又は変更予定日	年 月 日

変更事項		変更内容							
		旧(変更前)				新(変更後)			
給食施設の名称									
給食施設の所在地		〒				〒			
給食施設の設置者	名称 (法人にあっては、主たる事業所の名称)								
	住所 (法人にあっては、主たる事業所の所在地)								
	氏名 (法人にあっては、代表者の氏名)								
給食施設の種類									
1日の各食ごとの 予定給食数		朝食	昼食	夕食	その他	朝食	昼食	夕食	その他
管理栄養士の員数									
栄養士の員数									

届出 担当者	部署名	
	担当者名	
	電話番号	
	メールアドレス	

記入例

様式第2号(第3条関係)

特定給食施設等届出事項変更届出書

①

令和8年 6月 10日

豊中市長

②

給食施設の設置者〔法人にあっては、主たる事務所の名称及び代表者の氏名〕

名 称：株式会社 ○○

氏 名：代表取締役社長 豊中花子

健康増進法第20条第2項及び豊中市給食施設栄養管理実施要領第3条第3項の規定によるのとおり届け出ます。

①この届出書は、変更日から1か月以内に提出してください。

②設置者とは、当該施設を設置した最高責任者（理事長、代表取締役、知事、市長、教育長など）のことです。変更届提出時点の設置者名で記入してください。

③

給食施設の名称 (申請日時点の名称)	とよなっカメホーム
変更日又は変更予定日	令和8年 6月 1日

変更事項		変更内容							
		旧（変更前）				新（変更後）			
給食施設の名称		老人ホーム とよなっカメ				とよなっカメホーム			
給食施設の所在地		〒				〒			
給食施設の設置者	名称 （法人にあっては、主たる事業所の名称）								
	住所 （法人にあっては、主たる事業所の所在地）								
	氏名 （法人にあっては、代表者の氏名）	代表取締役社長 豊中太郎				代表取締役社長 豊中花子			
給食施設の種類									
1日の各食ごとの 予定給食数		朝食	昼食	夕食	その他	朝食	昼食	夕食	その他
		100	100	100		150	150	150	
管理栄養士の員数		2				3			
栄養士の員数									

届出 担当者	部署名	とよなっカメホーム
	担当者名	豊中 桜子
	電話番号	06-6858-0000
	メールアドレス	toyonakkame@city.toyonaka

③変更した事項のみ記入してください。

【食数について】

定員近くの食数を提供している場合は定員、定員がない又は定員と大幅に異なる食数の場合は予定食数、病院は病床数。

職員食を提供している場合は職員食の予定数を加えた数で提出してください。

- ・間食は食数に含みません。
(その他欄には、夜食などが含まれます)
- ・経管栄養は食数に含みます。

【管理栄養士・栄養士の員数について】

施設内に勤務する常勤(労働時間週32時間以上等)の人数を記入します。委託業者で施設内で勤務する人数も計上します。

栄養士、管理栄養士以外の職名で採用されているが、その資格を有して実際に栄養指導に従事している者も計上します。

特定給食施設等廃止（休止）届出書

年 月 日

豊中市長

給食施設の設置者〔法人にあつては、主たる事務所の名称及び代表者の氏名〕

名 称：

氏 名：

健康増進法第20条第2項及び豊中市給食施設養管理実施要領第3条第3項の規定により次のとおり届け出ます。

給食施設の名称	
給食施設の所在地	〒
給食の廃止年月日	年 月 日
給食の休止期間※	年 月 日 から 年 月 日 まで
給食の廃止（休止）の理由	

※休止期間が未定の場合は、廃止届を提出してください。開始が決定次第、開始届を提出してください。

届出 担当者	部署名	
	担当者名	
	電話番号	
	メールアドレス	

記入例

特定給食施設等廃止（休止）届出書

この届出書は、廃止（休止開始）日
から1か月以内に提出してください

令和8年 8 月 25 日

豊中市長

給食施設の設置者〔法人にあっては、主たる事務所の名称及び代表者の氏名〕

名 称： とよなっカメ株式会社

氏 名： 代表取締役社長 豊中次郎

健康増進法第20条第2項及び豊中市給食施設養管理実施要領第3条第3項の規定により
次のとおり届け出ます。

給食施設の名称	とよなっカメ株式会社 中桜塚支店社員食堂
給食施設の所在地	〒 561-0881 豊中市中桜塚4-〇-△
給食の廃止年月日	令和8年 8 月 31 日
給食の休止期間※	年 月 日 から 年 月 日 まで
給食の廃止（休止） の理由	食数の減少によるため

※休止期間が未定の場合は、廃止届を提出してください。開始が決定次第、開始届を提出してください。

届出 担当者	部署名	総務課
	担当者名	豊中 保
	電話番号	06-6858-〇〇〇〇
	メールアドレス	toyonakkame@city.toyonaka

小規模等給食施設名簿記載願

年 月 日

豊中市長

給食施設の設置者〔法人にあっては、主たる事務所の名称及び代表者の氏名〕

名 称：

住 所：

氏 名：

豊中市給食施設栄養管理要領第3条第4項の規定により、小規模等給食施設名簿への記載を希望します。

給食施設の名称				
給食施設の所在地	〒			
給食施設の種類	☐ 学校 ☐ 診療所 ☐ 介護医療院 ☐ 老人福祉施設 ☐ 児童福祉施設 ☐ 社会福祉施設 ☐ 事業所 ☐ その他（ ）			
給食の開始日 または開始予定日	年 月 日			
1日の各食ごとの 予定給食数	朝食	昼食	夕食	その他
	食	食	食	食

願出 担当者	部署名	
	担当者名	
	電話番号	
	メールアドレス	

小規模等給食施設名簿削除・変更願

年 月 日

豊中市長

給食施設の設置者 [法人にあっては、主たる事務所の名称及び代表者の氏名]

名 称 :

氏 名 :

給食施設の名称	
願出事項 (該当欄に☑または■ を入れてください)	☐ 小規模等給食施設名簿から削除を希望します。 ☐ 小規模等給食施設名簿記載事項に変更がありましたので連絡します※。

※変更願の場合は、下表に変更内容を記入してください。

変更事項		変更内容							
		旧 (変更前)				新 (変更後)			
給食施設の名称									
給食施設の所在地		〒				〒			
給食施設の設置者	名称 (法人にあっては、主たる事業所の名称)								
	住所 (法人にあっては、主たる事業所の所在地)	〒				〒			
	氏名 (法人にあっては、代表者の氏名)								
給食施設の種類									
1日の各食ごとの 予定給食数※2		朝食	昼食	夕食	その他	朝食	昼食	夕食	その他
その他 ()									

※2「特定給食施設」や「その他の給食施設」(継続的(週4日以上、概ね1か月以上)に1回50食以上または1日100食以上の食事を供給する)等に変更の場合は、小規模等給食施設名簿削除願と合わせて特定給食施設等開始届出書を提出してください。

届出 担当者	部署名	
	担当者名	
	電話番号	
	メールアドレス	

記入例

小規模等給食施設名簿削除・変更願

令和8 年 10 月 5 日

豊中市長

給食施設の設置者〔法人にあっては、主たる事務所の名称及び代表者の氏名〕

名 称： とよなっカメ株式会社

氏 名： 代表取締役社長 豊中太郎

給食施設の名称	とよなっカメの家
願出事項 (該当欄に☑または■を入れてください)	☐ 小規模等給食施設名簿から削除を希望します。 ☒ 小規模等給食施設名簿記載事項に変更がありましたので連絡します※。

※変更願の場合は、下表に変更内容を記入してください。

変更事項		変更内容							
		旧（変更前）				新（変更後）			
給食施設の名称		とよなっカメの里				とよなっカメの家			
給食施設の所在地		〒				〒			
給食施設の設置者	名称 (法人にあっては、主たる事業所の名称)	変更願の場合は、変更事項についてのみ記入してください。							
	住所 (法人にあっては、主たる事業所の所在地)					〒			
	氏名 (法人にあっては、代表者の氏名)								
給食施設の種類									
1日の各食ごとの 予定給食数※2		朝食	昼食	夕食	その他	朝食	昼食	夕食	その他
その他（ ）									

※2「特定給食施設」や「その他の給食施設」（継続的(週4日以上、概ね1か月以上)に1回50食以上または1日100食以上の食事を供給する)等に変更の場合は、小規模等給食施設名簿削除願と合わせて特定給食施設等開始届出書を提出してください。

届出担当者	部署名	とよなっカメの家
	担当者名	豊中 三郎
	電話番号	06-6858-〇〇〇〇
	メールアドレス	toyonakkame@city.toyonaka

届出事項等現況確認票及び送信票

1、同封の記入例を参考にご記入ください。

※表①の内容に変更がある場合は、同封の「特定給食施設等届出事項変更届出書」以下「変更届」も提出してください。

2、電子メール、FAX、郵送、保健所（中桜塚）の窓口のいずれかの方法でご提出をお願いします。

健康推進課 健康支援係 栄養士あて

Email: kenkoushien@city.toyonaka.osaka.jp

FAX 06-6152-7328

項目	届出書記載状況 (●年3月31日現在)	訂正の有無
施設の名称		無・有
施設の所在地		無・有
設置者の氏名		無・有
設置者の住所		無・有
栄養士の員数 (※1)		無・有
管理栄養士の員数 (※1) (栄養士数に含めない)		無・有
食数 (※2) 朝食		無・有
昼食		
夕食		
その他		
合計		

表①の内容に訂正ある場合は、変更箇所の「有」に○をつけた上で変更届を提出してください。
(変更後の状況をこの用紙に書かない)

※2 食数について
恒常的な食数(夏休み等を除いた年間の平均的な1日単位の食数。職員食を含む。おやつは含まない。)で登録。恒常的な食数が定員と近い場合は定員で登録してください(病院は病床数+職員食)。大幅な変更があった場合、又は変更幅は小さくとも1食あたり50、100、300、500食のライン又は1日あたり250、750、1,500食のラインを越える増減で、しばらく元に戻らない予定の場合は変更届の提出が必要。

表②の変更事項については、右列に記入してください。(変更届不要)

	届出書記載状況	訂正の有無	令和8年4月1日現在の状況
施設の電話番号		無・有	
施設のメールアドレス		無・有	
設置者の電話番号		無・有	
調理師の員数 (※1) 調理師免許をお持ちの方		無・有	
備考(追加情報) 見え消しで修正			

(※1)・栄養士、管理栄養士、調理師は常勤(労働時間週32時間以上等)の人数を記入します。

・栄養士、調理師の資格を併せ持つ場合は、業務内容から判断し、いずれか主なものに計上します。

・施設内に勤務する人だけ計上してください。(委託業者の方も施設内で勤務していれば人数に含みます。)

担当者名

電話番号

(今後記載いただいたメールアドレスに案内を送付します。)

整理番号

届出事項等現況確認票

1. 同封の記入例を参考にご記入ください。
 ①の内容に変更がある場合は「**変更届**」を提出してください。

表①の内容を訂正した場合は同封の変更届出書を提出してください。
 豊中市ホームページに書式のデータがあります。
 トップページ>健康・福祉・医療>健康・保健衛生>各種届出・
 営業相談（事業所の方へ）>給食施設関係>給食施設等届出様式

2. 電子メール、FAX、郵送、保健所（中接塚）の窓口、または下記の方法でご提出をお願いします。

項目	届出書記載状況 (●年3月31日現在)	訂正の有無
施設の名称	とよなっカメ幼稚園	無・有
施設の所在地	豊中市中接塚 4-〇-△	無・有
設置者の氏名	豊中 わに	無・有
設置者の住所	豊中市中接塚 4-〇-〇	無・有
栄養士の員数 (※1)	1	無・有
管理栄養士の員数 (※1) (栄養士数に含めない)	1	無・有
食数 (※2) 朝食	0	無・有
昼食	200	無・有
夕食	0	無・有
その他	0	無・有
合計	200	無・有

表①の内容に訂正ある場合は、変更届所の「有」に○をつけた上で変更届を提出してください。
 (変更後の状況をこの用紙に書かない)

食数変更するか否かはこちらを読んでご判断ください。

※2 食数について
 恒常的な食数(夏休み等を除いた年間の平均的な1日単位の食数。職員食を含む。おやつは含まない。)で登録。恒常的な食数が定員と近い場合は定員で登録してください(病院は病床数+職員食)。大幅な変更があった場合、又は変更幅は小さくても1食あたり50、100、300、500食のライン又は1日あたり250、750、1,500食のラインを越える増減で、しばらく元に戻らない予定の場合は変更届の提出が必要。

表②の変更事項については、右列に記入してください。(変更届不要)

届出書記載状況	訂正の有無	令和8年4月1日現在の状況
施設の電話番号	06-6858-〇〇〇〇	無・有
施設のメールアドレス	〇〇〇@〇〇〇〇	無・有
設置者の電話番号	06-6858-〇〇〇〇	無・有
調理師の員数 (※1) 調理師免許をお持ちの方	0	無・有
備考(追加情報) 見え消しで修正	郵送物はとよなっカメ分園に送る とよなっカメ保育園	1

表②の変更内容はこの欄に記入(変更届不要)

訂正がある場合は、見え消しをお願いします。

(※1)・栄養士、管理栄養士、調理師は常勤(労働時間週32時間以上等)の人数を記入します。
 ・栄養士、調理師の資格を併せ持つ場合は、業務内容から判断し、いずれか主なものに計上します。
 ・施設内に勤務する人だけ計上してください。(委託業者の方も施設内で勤務していれば人数に含みます。)

担当者名 **豊中 えいこ** 電話番号 **06-6858-〇〇〇〇**

(今後記載いただいたメールアドレスに案内を送付します。)

整理番号

2 栄養管理報告について

豊中市では、豊中市給食施設栄養管理実施要領に基づき、栄養管理報告書の提出をお願いしています。期限までに豊中市保健所に提出してください。なお、提出された報告書は、各施設への指導、支援及び公衆衛生向上のために活用します。

- ★ 押印は不要です。
- ★ 施設にて控えを保管してください。
- ★ 栄養価計算は、原則、最新の日本食品標準成分表の使用をお願いします。

▶ 取り扱いについて

	項目	内容・留意事項
1	実施年月日	令和8年5月分より適用
2	報告義務者	健康増進法第20条第1項に規定する特定給食施設の管理者とする。 豊中市では、その他の給食施設にも提出をお願いしています。
3	提出先及び部数	豊中市保健所長あて毎回1部を提出する。
4	報告時期	毎年5月実績分を7月15日までに、11月実績分を翌年1月15日までに報告する。
5	報告様式	施設種別にあったものを、豊中市ホームページからダウンロードし作成する。
	施設種別	様式
	病院	病院
	介護老人保健施設、介護医療院 特別養護老人ホーム	介護保険施設
	事業所、学校、寄宿舍（寮） 矯正施設、自衛隊、一般給食センター	特定給食施設 （事業所・学校等）
	老人福祉施設（特養を除く） 社会福祉施設、有料老人ホーム	特定給食施設 （老人福祉施設等）
	保育所、認定こども園、児童養護施設 乳児院、幼稚園	特定給食施設 （児童福祉施設・幼稚園等）
		ページ
		51
		55
		59
		63
		67

▶ 記入事項について

記入又は、該当項目に○をつけてください。

	項目	内容・留意事項
1	年 月 分	報告する該当年月を記入する。
2	施設名、郵便番号・所在地、 電話番号・FAX 番号、e-mail	施設の名称、郵便番号、所在地、電話番号、FAX 番号、メールアドレス （携帯不可）を記入する。
3	設置者（職・氏名）	施設の設置者の補職名（理事長等）、氏名を記入する。
4	給食責任者（職・氏名）	施設の給食部門責任者の補職名（〇〇課長・△△主任等）又は 職種名（管理栄養士・栄養士等）、氏名を記入する。
5	作成者（職・氏名）	報告書の作成者の補職名（〇〇科長・△△係長等）又は職種名（管 理栄養士・栄養士等）、氏名、連絡先（電話番号）を記入する。 ※ 記載内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。

★ 上記以外の項目については、各様式別の記入要領を参照してください。

病院栄養管理報告書

（ 年 月分）

施 設 名 郵便番号 所 在 地 電話番号 FAX番号 e-mail	設 置 者 （職・氏名）
	給食責任者 （職・氏名）
	作 成 者 （職・氏名）
	連絡先 電話番号：

許可 病 床 数	一般	療養	結核	感染症	精神	合 計	【入院時食事療養】 I・II		【 食 堂 加 算 】 有・無		
							【 特 別 食 加 算 】 有・無		【特別メニューの提供】 有・無		
							【栄養サポートチーム加算】 有・無		【栄養情報連携料】 有・無		
1 回当 た り の 食 数	一般 食	常 食	特 別 食	加 算			【 配 膳 時 間 】	朝 食	昼 食	間 食	夕 食
		軟 食		非加算				:	:	:	:
		その他									
	職 員 食 等		その他（ ）		【適温給食の実施方法】保温保冷配膳車・保冷配膳車・保温トレイ・保温食器・その他（ ）						

給 食 従 事 者 数 (人)		施 設		委 託 業 者		委 託 業 者	名 称	
		常 勤	常勤以外	常 勤	常勤以外		所 在 地	
	管理栄養士					電 話 番 号		
	栄 養 士					代 表 者		
	調 理 師					施設の責任者		
	調 理 員					【委託内容】献立作成・食材調達・下処理・調理・盛付 配膳・下膳・食器洗浄・その他（ ） 院外調理 → クックチル・クックフリーズ・クックサーブ 真空調理		
	事 務 職 員							
	合 計							

【食事せん規約】 有（ 年 月作成）[病態別・栄養成分別・その他（ ）]・ 無		
【給食利用者の身体活動レベルの把握】 有・無	【身長把握】 有・無	【体重把握】 有・無
【体格指数（BMI）の把握】 有・無	【喫食調査】 有（ ）・ 無	

栄養食事指導状況											
個 別	総指導件数	入 院	外 来	在 宅	集 団	教室名 (または内容)	所要時間	回 数	人 数	指導料	
											有・無
											有・無
		指導料算定件数(再掲)									有・無

【チーム医療】	有（ ）・ 無
---------	---------

構 成 職 種	管理栄養士 ・ 栄養士 ・ 医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ 臨床検査技師 ・ その他（ ）
---------	--

【非常時危機管理対策】 (食関連)	食中毒発生時マニュアルの整備	有・無	災害時等マニュアルの整備	有・無
	食品等の備蓄	有（ 日分）・ 無	災害時の具体的な献立	有・無
	施設間連携	有・無		

【食 種】 ()			【1人1日当たりの食材料費】 円			
【基準設定】 (年 月)			【栄養価計算の基準】 日本食品標準成分表 年版			
栄 養 素 等 名 (単位)	給与栄養目標量	給与栄養量	食 品 群 名		目標量 (g)	給与量 (g)
エ ネ ル ギ ー (kcal)			穀 類	米		
た ん ぱ く 質 (g)				パ ン 類		
脂 質 (g)				め ん 類		
カ ル シ ウ ム (mg)				そ の 他 の 穀 類		
鉄 (mg)			いも及び でん粉類	い も		
ビ タ ミ ン A (レチノール活性当量) (μgRAE)				い も 加 工 品		
ビ タ ミ ン B ₁ (mg)			砂 糖 及 び 甘 味 類			
ビ タ ミ ン B ₂ (mg)			豆 類	大 豆 製 品		
ビ タ ミ ン C (mg)				大豆、その他の豆類		
食 物 繊 維 (g)			種 実 類			
食 塩 相 当 量 (g)			野 菜 類	緑 黄 色 野 菜		
				そ の 他 の 野 菜		
				野 菜 漬 物		
エネルギー 産生栄養素 バランス (%エネルギー)	た ん ぱ く 質		果 実 類	果 実		
	脂 質			果 実 加 工 品		
	炭 水 化 物					
			き の こ 類			
【上記の食種における 栄養補助食品等の使用状況】	有 ・ 無		藻 類			
栄養補助食品等の名称	1日あたりの使用量		魚 介 類	魚 介 類 (生)		
(主な補給目的の栄養素等名)	1日あたりの給与栄養量 (単位)/日			干 物、塩 蔵、缶 詰		
	g ・ mg /日			練 製 品		
	g ・ mg /日		肉 類	肉 類 (生)		
()	[()/日]			肉 加 工 品		
	g ・ mg /日		卵 類			
()	[()/日]		乳 類	牛 乳		
	g ・ mg /日			乳 製 品		
()	[()/日]		油 脂 類	植 物 性		
				動 物 性		
【栄養管理における課題】			調 味 料 及 び 香辛料類	食 塩		
				し ょ う ゆ		
				み そ		
				そ の 他 の 調 味 料		
【課題に対する改善策、工夫事項】			調 理 済 み 流 通 食 品 類			
			合 計			

▶ 記入要領（主な項目のみ）

	項目	内容・留意事項
1	許可病床数	医療法に基づいて承認されている病床数を該当する項目別に記入する。
2	1回当たりの食数	報告月における1回当たりの平均食数を整数（端数は四捨五入）で記入する。 (1) 一般食は「常食」、「軟食」、「その他」の別に記入する。 流動食は「その他」に区分する。 (2) 特別食は、「加算」及び「非加算」別に記入する。 (3) 職員食等は、職員及び付き添いの食事を提供している場合に記入する。 （朝昼夕のうち最大食数を記入する。） (4) その他は、外来透析及びデイケア等で食事を提供している場合に記入する。 （朝昼夕のうち最大食数を記入する。）
3	給食従事者数	(1) 従事者数を施設・委託業者別、常勤・常勤以外別に記入する。院外調理の場合は、病院内で従事する者の人数のみ記入する。 (2) 上記について管理栄養士、栄養士、調理師は、有資格（登録）者とする。 なお、管理栄養士である者は、栄養士に含めない。また、栄養士・調理師等の資格を併せ持つ場合は、業務内容から判断し、いずれか主なものに記入する。 (3) 複数の施設に勤務する場合は、主として勤務する施設で計上する。
4	配膳時間	時刻は24時間制で記入する。配膳時間が一定でない場合は、最も早い時刻を記入する。
5	委託内容	院外調理の場合は該当する調理方式に○をつける。
6	食事せん規約	当該規約の作成日（直近の改定年月）を記入する。
7	チーム医療	栄養サポートチーム等、管理栄養士が参画している主な活動組織を記入する。
8	非常時危機管理対策（食関連）	食品等の備蓄は、施設及び敷地内で保管している場合のみ「有」とする。 施設間連携は、非常時における人員の派遣や物資の提供等について、他施設と協定等が締結されている場合に「有」とする。

(裏面)

	項目	内容・留意事項
1	食種	食事せん規約に基づく区分のうち、報告月において最も食数が多かったものを記入する。
2	1人1日当たりの食材料費	1の食種にかかる費用で、1人1日当たりの食材料費（消費税込み）を記入する。ただし、その食材料費が「特軟食」等のようにまとめて算出されている場合は、その平均値を記入してもよい。（業務委託の契約金額ではない。）
3	基準設定	給与栄養目標量及び食品群別目標量を設定した年月を記入する。
4	栄養価計算の基準	給与栄養量を算出する際に使用した日本食品標準成分表の年版を記入する。
5	給与栄養目標量及び給与栄養量	栄養素等別に1人1日当たりの目標量と給与量を記入する。給与量は報告月の平均とし、記入における小数点以下の桁数の取り扱いについては、最新の日本食品標準成分表に準ずる。（端数は四捨五入）なお、算出していない場合は「－」を記入する。
6	食品群別目標量及び給与量	食品群別に1人1日当たりの目標量と給与量を整数（端数は四捨五入）で記入する。（ただし、食塩については、小数点第1位まで記入する。）また、その他項目があれば、空欄に記入する。なお、1人1日当たりの給与量の算出で1週間単位の検討表を作成しているものについては、その月内に属する4週（月がまたがっている場合は、より多い日数の属する4週）の単純平均値でもよい。他の周期で検討表を作成している場合もこれに準ずる。
7	エネルギー・産生栄養素バランス	各栄養素の総エネルギーに占める割合を、整数（端数は四捨五入）で記入する。エネルギーの算出方法については、最新の日本食品標準成分表に準ずるが、エネルギー・産生栄養素バランスの算出については、下記による方法でも差し支えない。 ① たんぱく質(%エネルギー) = たんぱく質(g)×4/総エネルギー(kcal)×100 ② 脂質(%エネルギー) = 脂質(g)×9/総エネルギー(kcal)×100 ③ 炭水化物(%エネルギー) = 100－(①＋②)
8	上記の食種における栄養補助食品等の使用状況	一般的な食品以外に栄養補助食品やサプリメント等を使用している場合に記入する。具体的な食品名と使用量及び主な補給目的の栄養素名（カルシウム・鉄・ビタミンB ₁ 等）と給与量を記入する。なお、使用量・給与量は、1日当たりの量を記入する。 ※ 報告する食種において、使用する食品として設定されている栄養補助食品等のみを記入する。個別対応は含めない。
9	栄養管理における課題	現在の栄養管理における課題を記入する。
10	課題に対する改善策、工夫事項	上記の課題に対する改善策や工夫事項について記入する。

介護保険施設栄養管理報告書

(年 月分)

施設名						設 置 者 (職・氏名)								
郵便番号 所 在 地						給 食 責 任 者 (職・氏名)								
電話番号						作 成 者 (職・氏名)								
FAX番号						連絡先 電話番号:								
e-mail														
施設種別		1. 介護老人保健施設 2. 介護医療院 3. 特別養護老人ホーム				【栄養マネジメント強化加算】		有・無		【療養食加算】		有・無		
						【経口移行加算】		有・無		【経口維持加算】		I・II・無		
定員数		入 所	短 期	通 所	その他 ()	合計	【退所時栄養情報連携加算】		有・無		【再入所時栄養連携加算】		有・無	
							【配膳時間】		朝 食	昼 食	間 食	夕 食		
1 回当たりの食数		一 般 食	()		療 養 食	加算対象			:	:	:	:		
		()				上記以外			【適温給食の実施方法】 保温保冷配膳車・保冷配膳車 保温トレイ・保温食器・その他 ()					
					その他 ()									
		職 員 食 等	朝	昼	夕									
給食従事者数 (人)	給食従事者数 (人)			施 設		委 託 業 者		委託業者	名 称					
				常 勤	常勤以外	常 勤	常勤以外		所 在 地					
				常 勤	常勤以外	常 勤	常勤以外		電 話 番 号					
		管理栄養士							代 表 者					
		栄養士							施設の責任者					
		調理師							【委託内容】 献立作成・食材調達・下処理・調理・盛付 配膳・下膳・食器洗浄・その他 ()					
		調理員							【施設外調理】 クックチル・クックフリーズ・クックサーブ 真空調理・その他 ()					
事務職員														
合 計														

栄養補給法						【食事せん規約】 有 (年 月作成) ・ 無					
【経腸栄養法】 有・無 【静脈栄養法】 有・無						有の場合 [病態別・栄養成分別・その他 ()]					
【給食利用者の身体活動レベルの把握】 有・無						【身長の把握】 有・無					
【血液検査結果の把握】 有・無						【体重の把握】 有・無					
【疾病状況の把握】 有・無						【体格指数(BMI)の把握】 有・無					
【喫食量調査】 有・無						【嗜好調査】 有・無					
【栄養食事相談】		個別	入所者	通所者	在宅	計	集団	入所者	通所者	計	【実施内容】
有・無											
【多職種協働】 有 () ・ 無											
構成職種 管理栄養士・栄養士・医師・看護師・介護支援専門員・理学療法士・介護職員・その他 ()											
【非常時危機管理対策】 (食関連)			食中毒発生時マニュアルの整備 有・無						災害時等マニュアルの整備 有・無		
			食品等の備蓄 有 (日分) ・ 無						災害時の具体的な献立 有・無		
			施設間連携 有・無								

【食 種】 ()			【1人1日当たりの食材料費】 円		
【基準設定】 (年 月)			【栄養価計算の基準】 日本食品標準成分表 年版		
栄 養 素 等 名 (単位)	給与栄養目標量	給与栄養量	食 品 群 名	目標量(g)	給与量(g)
エ ネ ル ギ ー (kcal)			穀 類	米	
た ん ぱ く 質 (g)				パ ン 類	
脂 質 (g)				め ん 類	
カ ル シ ウ ム (mg)				そ の 他 の 穀 類	
鉄 (mg)			いも及び でん粉類	い も	
ビ タ ミ ン A (レチノール活性当量) (μgRAE)				い も 加 工 品	
ビ タ ミ ン B ₁ (mg)			砂 糖 及 び 甘 味 類		
ビ タ ミ ン B ₂ (mg)			豆 類	大 豆 製 品	
ビ タ ミ ン C (mg)				大豆、その他の豆類	
食 物 繊 維 (g)			種 実 類		
食 塩 相 当 量 (g)			野 菜 類	緑 黄 色 野 菜	
				そ の 他 の 野 菜	
				野 菜 漬 物	
エネルギー 産生栄養素 バランス (%エネルギー)	た ん ぱ く 質		果 実 類	果 実	
	脂 質			果 実 加 工 品	
	炭 水 化 物				
			き の こ 類		
【上記の食種における 栄養補助食品等の使用状況】 有 ・ 無			藻 類		
栄養補助食品等の名称		1日あたりの使用量	魚 介 類	魚 介 類 (生)	
(主な補給目的の栄養素等名)		1日あたりの給与栄養量 (単位)/日		干 物、塩 蔵、缶 詰	
				練 製 品	
		g・mg/日	肉 類	肉 類 (生)	
()	[()/日]			肉 加 工 品	
		g・mg/日	卵 類		
()	[()/日]		乳 類	牛 乳	
		g・mg/日		乳 製 品	
()	[()/日]		油 脂 類	植 物 性	
				動 物 性	
【栄養管理における課題】			調 味 料 及 び 香 辛 料 類	食 塩	
				し ょ う ゆ	
				み そ	
【課題に対する改善策、工夫事項】			そ の 他 の 調 味 料		
			調 理 済 み 流 通 食 品 類		
【 栄 養 情 報 の 提 供 】					
有 [ポスター掲示 ・ 献立の掲示 ・ 栄養メモ					
・給食だより・その他()] ・ 無			合 計		

▶ 記入要領（主な項目のみ）

	項目	内容・留意事項
1	1回当たりの食数	報告月における、1回当たりの平均食数を整数（端数は四捨五入）で記入する。 (1) 一般食は、各施設の形態と固さにより施設独自の区分別に記入する。 (2) 療養食は、「加算対象」、「加算対象以外」別に記入する。 (3) 職員食等は、職員及び付き添いの食事を提供している場合に朝、昼、夕に分けて記入する。 (4) その他は、デイケア等で食事を提供している場合に記入する。 (朝昼夕のうち最大食数を記入する。)
2	給食従事者数	(1) 従事者数を施設・委託業者別、常勤・常勤以外別に記入する。施設外調理の場合は、施設内で従事する者の人数のみ記入する。 (2) 上記について管理栄養士、栄養士、調理師は、有資格（登録）者とする。 なお、管理栄養士である者は、栄養士に含めない。また、栄養士・調理師等の資格を併せ持つ場合は、業務内容から判断し、いずれか主なものに記入する。 (3) 複数の施設に勤務する場合は、主として勤務する施設で計上する。
3	療養食加算 経口移行加算 経口維持加算	報告月における算定の有無に関わらず、体制が整備されていれば「有」とする。
4	配膳時間	時刻は24時間制で記入する。配膳時間が一定でない場合は、最も早い時刻を記入する。
5	委託内容	施設外調理の場合は該当する調理方式に○をつける。
6	食事せん規約	当該規約の作成日（直近の改定年月）を記入する。
7	栄養食事相談	相談件数は、個別及び集団別に入所者、通所者、在宅に分けて記入する。（栄養ケア・マネジメントに関わった件数も含める。）集団の場合は、主な実施内容を記入する。
8	多職種協働	褥瘡対策チーム等、管理栄養士が参画している主な活動組織について記入する。
9	非常時危機管理対策 （食関連）	食品等の備蓄は、施設及び敷地内で保管している場合のみ「有」とする。 施設間連携は、非常時における人員の派遣や物資の提供等について、他施設と協定等が締結されている場合に「有」とする。

(裏面)

	項目	内容・留意事項
1	食種	食事せん規約に基づく区分のうち、報告月において最も食数が多かったものを記入する。
2	1人1日当たりの食材料費	1の食種にかかる費用で、1人1日当たりの食材料費（消費税込み）を記入する。（業務委託の契約金額ではない。）
3	基準設定	給与栄養目標量及び食品群別目標量を設定した年月を記入する。
4	栄養価計算の基準	給与栄養量を算出する際に使用した日本食品標準成分表の年版を記入する。
5	給与栄養目標量及び給与栄養量	栄養素等別に1人1日当たりの目標量と給与量を記入する。記入における小数点以下の桁数の取り扱いについては、最新の日本食品標準成分表に準ずる。（端数は四捨五入）なお、算出していない場合は「－」を記入する。
6	食品群別目標量及び給与量	食品群別に1人1日当たりの目標量と給与量を整数（端数は四捨五入）で記入する。（ただし、食塩については、小数点第1位まで記入する。）また、その他項目があれば、空欄に記入する。なお、1人1日当たりの給与量の算出で1週間単位の検討表を作成しているものについては、その月内に属する4週（月がまたがっている場合は、より多い日数の属する4週）の単純平均値でもよい。他の周期で検討表を作成している場合もこれに準ずる。
7	エネルギー・産生栄養素バランス	各栄養素の総エネルギーに占める割合を、整数（端数は四捨五入）で記入する。エネルギーの算出方法については、最新の日本食品標準成分表に準ずるが、エネルギー・産生栄養素バランスの算出については、下記による方法でも差し支えない。 ① たんぱく質(%エネルギー) = たんぱく質(g)×4/総エネルギー(kcal)×100 ② 脂質(%エネルギー) = 脂質(g)×9/総エネルギー(kcal)×100 ③ 炭水化物(%エネルギー) = 100－(①＋②)
8	上記の食種における栄養補助食品等の使用状況	一般的な食品以外に栄養補助食品やサプリメントを使用している場合に記入する。具体的な食品名と使用量及び主な補給目的の栄養素名（カルシウム・鉄・ビタミンB₁等）と給与量を記入する。なお、使用量・給与量は、1日当たりの量を記入する。 ※ 報告する食種において、使用する食品として設定されている栄養補助食品等のみを記入する。栄養ケア等の個別使用は含めない。
9	栄養管理における課題	現在の栄養管理における課題を記入する。
10	課題に対する改善策、工夫事項	上記の課題に対する改善策や工夫事項について記入する。

特定給食施設栄養管理報告書(事業所・学校等) (年 月分)

施設名				設置者(職・氏名)			
郵便番号 所在地				給食責任者(職・氏名)			
電話番号 FAX番号				作成者(職・氏名)			
e-mail				連絡先 電話番号			

【施設種別】 1.事業所 2.学校 3.その他()						委託者		名称			
給食従事者数(人)		施設		委託業者		業	者	代表者	所在地		
		常勤	常勤以外	常勤	常勤以外						
	管理栄養士						構成職種	施設	施設長 管理栄養士 栄養士 産業医 保健師 看護師 事務職 調理師(員) その他()		
	栄養士										
	調理師										
	調理員										
その他						委託業者	管理栄養士 栄養士 調理師(員) 事務職 その他()				
合計								朝食 昼食 夕食 合計			
【施設外調理】		有 ・ 無 内容()		食数		食材料費(円/人)					
【給食利用者の把握】 有(年 月現在)・無				身体活動レベル・年齢区分・性別人数							
【健康管理部門との連携】 有 ・ 無				身体活動レベル		15~17歳	18~29歳	30~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
身体状況		献立への配慮		低い	男性						
1.体格	肥満	%	有()・無		女性						
	やせ	%	有()・無	ふつう	男性						
2.高血圧	%	有()・無	女性								
	3.脂質異常症	%	有()・無	高い	男性						
女性											
4.高血糖	%	有()・無	合計								
【給食形態】 1.単一定食 2.複数定食 3.混合 4.カフェテリア 5.()											
【献立の提示】 1.有(献立表・展示[実物・写真]・[]) 2.無 ※カフェテリア等の場合:モデル献立の提示 1.有 2.無											
【栄養成分表示】 1.エネルギー 2.たんぱく質 3.脂質 4.炭水化物 5.食塩相当量 6.() 7.無											
【喫食調査】 1.嗜好調査(アンケート、) 2.残食調査 3.無											
【栄養情報の提供】 1.ポスター 2.卓上メモ 3.献立表などに一口メモ 4.ポップ 5.() 6.無											
栄養指導	個別指導	内容		集団指導	内容	生活習慣病(肥満・高血圧・脂質異常症・高血糖)・()					
	人			回数	方法	講話・ビデオ					
【非常時危機管理対策】(食関連)				食中毒マニュアルの整備 有・無							
				災害時マニュアルの整備 有・無				食品等の備蓄 有(日分)・無			
施設の健康課題に対する取り組み						栄養管理の評価					

※1 男性	歳	女性	歳	食 品 群		目標量(g)	給与量(g)
※2 1人(朝食・昼食・夕食・)当たり				穀類	米		
※3 下記以外に食事基準の設定がある食事 (種類)					パ ン 類		
					め ん 類		
					その他の穀類		
【基 準 設 定】 (年 月)				いも及び でん粉類	い も		
【栄養価計算の基準】 日本食品標準成分表 年版					いも加工品		
栄 養 素 等 (単位)	給与栄養目標量	給与栄養量	砂糖 及び 甘味類				
エネルギー (kcal)			豆類	大豆製品			
				大豆、その他の豆類			
たんぱく質 (g)			種 実 類				
脂 質 (g)			野菜類	緑黄色野菜			
				その他の野菜			
				野菜漬物			
カルシウム (mg)			果実類	果 実			
				果実加工品			
鉄 (mg)			き の こ 類				
			藻 類				
ビタミン A (レチノール活性当量) (μgRAE)			魚介類	魚 介 類 (生)			
				干物、塩蔵、缶詰			
ビタミン B ₁ (mg)				練 製 品			
ビタミン B ₂ (mg)			肉類	肉 類 (生)			
				肉加工品			
			卵 類				
ビタミン C (mg)			乳類	牛 乳			
				乳 製 品			
食物繊維 (g)			油脂類	植 物 性			
				動 物 性			
食塩相当量 (g)			調味料 及び 香辛料類	食 塩			
				しょうゆ			
				み そ			
				その他の調味料			
エネルギー 産生栄養素 バランス (%エネルギー)	たんぱく質			調理済み流通食品類			
	脂 質						
	炭水化物			合 計			

上 記 の 食 種 に お け る 栄 養 補 助 食 品 等 の 使 用 状 況				
栄養補助食品等の名称	栄養素名	使用回数	使用量	給与量(単位)
		回/ 週・日	g/回	() /回
		回/ 週・日	g/回	() /回
		回/ 週・日	g/回	() /回

▶ 記入要領（主な項目のみ）

事業所・学校等

	項目	内容・留意事項
1	施設種別	事業所、学校以外は「3」に施設種別（寄宿舍・矯正施設・自衛隊・一般給食センター等）を記入する。
2	給食従事者数	(1) 従事者数を施設・委託業者別、常勤・常勤以外別に記入する。施設外調理の場合は、施設内で従事する者の人数のみ記入する。 (2) 上記について管理栄養士、栄養士、調理師は、有資格（登録）者とする。 なお、管理栄養士である者は、栄養士に含めない。また、栄養士・調理師等の資格を併せ持つ場合は、業務内容から判断し、いずれか主なものに記入する。 (3) 複数の施設に勤務する場合は、主として勤務する施設で計上する。
3	施設外調理	「有」の場合は、クックチルや弁当等、その具体的な内容を記入する。
4	食数	朝食・昼食・夕食等の1日当たりの平均食数（報告月の総食数を給食日数で除した値）を整数（端数は四捨五入）で記入する。なお、間食・夜食等は空欄に記入する。
5	食材料費	1人当たりの食材料費（消費税含む）を食事ごとに整数で記入する。ただし、2食以上を提供し食事ごとに食材料費を算出していない場合は、合計欄に1日分の食材料費を記入する。利用者によって食材料費が異なる場合は、主たる利用者の食材料費を記入する。（業務委託の契約金額ではない。）
6	給食利用者の把握	定期的に利用者の身体状況を把握している場合に「有」とし、把握した年月を記入する。 (1) 身体の状態 ・体格 BMI等で、肥満・やせを判定し、その人数を利用者数で除した百分率（整数、端数は四捨五入）で記入する。 ＊BMI〔体重(kg)/身長(m)²〕を基準とする場合、目標とするBMIの範囲（P8参照）を参考にする。 ＊小・中・高等学校の肥満とやせの判定は児童福祉施設・幼稚園等の記入要領を参考にする。 ・高血圧・脂質異常症・高血糖 定期健診の結果、要経過観察等以上の人数の割合を記入する。 (2) 献立への配慮 把握した身体の状態を献立の作成に配慮しているか、該当する項目に○をつける。 「有」の場合はその内容を記入する。（例：野菜の量を増やす・魚の回数を多くする・ご飯の調節ができる・減塩食にできる等） (3) 身体活動レベル・年齢区分・性別人数 利用者の身体活動レベル（P10参照）、年齢区分、性別ごとに人数を記入する。
7	給食形態	「単一定食」：定食が1種類の場合 「複数定食」：定食が2種類以上ある場合 「混合」：定食のほかカレー、めん類、どんぶり物等を提供している場合 「カフェテリア」：利用者が盛り付けされた料理を自由に選択する場合 バイキング等の場合、「5.」にその内容を記入する。
8	献立の提示	・展示〔実物・写真〕にはフードモデルも含む。 ・カフェテリアやバイキングの場合は、モデル的な料理の組合せの提示について、該当する項目に○をつける。
9	栄養成分表示	ビタミン・ミネラル等は「6.」に具体的な内容（例：ビタミンA・カルシウム）を記入する。
10	喫食調査	嗜好調査を実施している場合は、その内容を（ ）に記入する。
11	栄養情報の提供	ホームページや社内メール等の場合は、「5.」に記入する。
12	非常時危機管理対策（食関連）	食品等の備蓄は、施設及び敷地内で保管している場合のみ「有」とする。
13	栄養管理の評価	栄養管理について、現状を分析し、今後の課題や取り組むべき事項等について記入する。

(裏面)

報告月において最も提供数の多かった食事の内容を記入する。なお、カフェテリアの場合は、モデル献立について記入する。

※1 当該食事の対象とする性別年齢区分を記入する。

※2 該当する項目に○をつける。(朝食と夕食を提供している場合は、朝食と夕食に○をつける。)

※3 下記以外に基準を設定している食事の種類(ヘルシーメニュー、高血圧メニュー等)があれば、種類数を記入する。

	項目	内容・留意事項
1	基準設定	給与栄養目標量及び食品群別目標量を設定した年月を記入する。
2	栄養価計算の基準	給与栄養量を算出する際に使用した日本食品標準成分表の年版を記入する。
3	給与栄養目標量及び 給与栄養量	・栄養素等別に1人1日当たりの目標量と給与量を記入する。記入における小数点以下の桁数の取り扱いについては、最新の日本食品標準成分表に準ずる。(端数は四捨五入) なお、算出していない場合は「-」を記入する。 ・食塩相当量は、下記の計算式で算出する。 食塩相当量(g) = ナトリウム(mg) × 2.54 ÷ 1,000
4	食品群別目標量及び 給与量	食品群別に1人1日当たりの目標量と給与量を整数(端数は四捨五入)で記入する。(ただし、食塩については、小数点第1位まで記入する。)
5	エネルギー・産生栄養素 バランス	各栄養素の総エネルギーに占める割合を、整数(端数は四捨五入)で記入する。エネルギーの算出方法については、最新の日本食品標準成分表に準ずるが、エネルギー・産生栄養素バランスの算出については、下記による方法でも差し支えない。 ① たんぱく質(%エネルギー) = たんぱく質(g) × 4 / 総エネルギー(kcal) × 100 ② 脂質(%エネルギー) = 脂質(g) × 9 / 総エネルギー(kcal) × 100 ③ 炭水化物(%エネルギー) = 100 - (① + ②)
6	上記の食種における 栄養補助食品等の 使用状況	一般的な食品以外に栄養補助食品やサプリメント等を使用している場合に記入する。栄養補助食品等の名称、栄養素名(カルシウム・鉄・ビタミンB ₁ 等)、使用回数(週又は日当たりの回数。該当する項目に○をつける。)、1回当たりの使用量(g)及び、給与量(単位を記入)を記入する。

特定給食施設栄養管理報告書(老人福祉施設等)

(年 月分)

施設名				設置者 (職・氏名)																			
郵便番号				給食責任者 (職・氏名)																			
所在地																							
電話番号				作成者 (職・氏名)																			
FAX番号				連絡先 電話番号:																			
e-mail																							
【施設種別】 1.老人福祉施設(特別養護老人ホーム除く) 2.社会福祉施設(入所・通所) 3.有料老人ホーム 4.サ高住				委託業者		名称 代表者 所在地 電話番号																	
給食従事者数(人)			施設		委託業者		【給食管理等について検討する会議】						有(回/年)・無										
			常勤	常勤以外	常勤	常勤以外																	
	管理栄養士						構成職種	施設長 管理栄養士 栄養士 保健師 看護師 介護支援専門員															
	栄養士							事務職 調理師(員) その他()															
	調理師							委託業者 管理栄養士 栄養士 調理師(員) 事務職 その他()															
	調理員								朝食	昼食	夕食	間食	その他	合計									
	その他						食数																
合計						食材料費(円/人)																	
【施設外調理】		1.有 2.無 (内容)				身体活動レベル・年齢区分・性別人数																	
						身体活動レベル		18~29歳	30~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上											
【給食利用者の把握】		有(年 月現在)・無				低い	男性																
身体状況		献立への配慮					女性																
1.体格	肥満	%	有()・無		ふつう	男性																	
	やせ	%	有()・無			女性																	
2.高血圧		%	有()・無		高い	男性																	
3.脂質異常症		%	有()・無			女性																	
4.高血糖		%	有()・無		合計																		
【食事の種類】		常食 軟食 その他()																					
【献立の提示】		1.有(献立表・展示[実物 写真]・その他[]) 2.無																					
【栄養成分表示】		1.エネルギー 2.たんぱく質 3.脂質 4.炭水化物 5.食塩相当量 6.() 7.無																					
【喫食調査】		1.嗜好調査(アンケート) 2.残食調査(個別・集団) 3.無																					
【栄養情報の提供】		1.ポスター 2.卓上メモ 3.献立表などに一口メモ 4.ポップ 5.() 6.無																					
【栄養マネジメント強化加算】		有・無		【経口移行加算】		有・無		【経口維持加算】		I・II・III		【療養食加算】		有・無									
栄養指導	個別指導	内容			集団指導			内容			生活習慣病(肥満・高血圧・脂質異常症・高血糖)												
	人				回			方法			講話 ビデオ その他()												
【非常時危機管理対策】 (食関連)		食中毒マニュアルの整備				有・無				災害時マニュアルの整備				有・無									
		食品等の備蓄				有(日分)・無																	
【栄養管理における課題】														【課題に対する改善策、工夫事項】									

※1 男性 歳 女性 歳		食 品 群		目標量(g)	給与量(g)
※2 1人(朝食・昼食・夕食・)当たり		穀類	米		
※3 下記以外に食事基準の設定がある食事 ()種類			パン類		
			めん類		
			その他の穀類		
【基準設定】(年 月)		いも及び でん粉類	いも		
【栄養価計算の基準】 日本食品標準成分表 年版			いも加工品		
栄 養 素 等	給与栄養目標量	給与栄養量	砂糖 及び 甘味類		
エネルギー (kcal)			豆類	大豆製品	
				大豆、その他の豆類	
たんぱく質 (g)			種 実 類		
脂 質 (g)			野菜類	緑黄色野菜	
				その他の野菜	
				野菜漬物	
カルシウム (mg)			果実類	果 実	
				果実加工品	
鉄 (mg)			き の こ 類		
			藻 類		
ビタミン A (レチノール活性当量) (μgRAE)			魚介類	魚 介 類 (生)	
				干物、塩蔵、缶詰	
ビタミン B ₁ (mg)				練 製 品	
ビタミン B ₂ (mg)			肉類	肉 類 (生)	
				肉加工品	
ビタミン C (mg)			卵 類		
食物繊維 (g)			乳類	牛 乳	
				乳 製 品	
食塩相当量 (g)			油脂類	植 物 性	
				動 物 性	
エネルギー 産生栄養素 バランス (%エネルギー)	たんぱく質			調味料 及び 香辛料類	食 塩
					しょうゆ
					み そ
					その他の調味料
脂 質				調理済み流通食品類	
炭水化物			合 計		

上記の食種における栄養補助食品等の使用状況

栄養補助食品等の名称	栄養素名	使用回数	使用量	給与量(単位)
		回/週・日	g/回	()/回
		回/週・日	g/回	()/回
		回/週・日	g/回	()/回

▶ 記入要領（主な項目のみ）

老人福祉施設等

	項目	内容・留意事項
1	施設種別	1は養護老人ホーム、軽費老人ホーム等。2は救護施設、更生施設、障害者支援施設等で、通所・入所について該当するものに○をつける。
2	給食従事者数	(1) 従事者数を施設・委託業者別、常勤・常勤以外別に記入する。施設外調理の場合は、施設内で従事する者の人数のみ記入する。 (2) 上記について管理栄養士、栄養士、調理師は、有資格（登録）者とする。 なお、管理栄養士である者は、栄養士に含めない。また、栄養士・調理師等の資格を併せ持つ場合は、業務内容から判断し、いずれか主なものに記入する。 (3) 複数の施設に勤務する場合は、主として勤務する施設で計上する。
3	施設外調理	「有」の場合は、クックチルや弁当等、その具体的な内容を記入する。
4	食数	朝食・昼食・夕食・間食・その他（デイスービス等）の1日当たりの平均食数（報告月の総食数を給食日数で除した値）を整数（端数は四捨五入）で記入する。
5	食材料費	1人当たりの食材料費（消費税含む）を食事ごとに整数（端数は四捨五入）で記入する。ただし、2食以上を提供し食事ごとに食材料費を算出していない場合は、合計欄に1日分の食材料費を記入する。利用者によって食材料費が異なる場合は、主たる利用者の食材料費を記入する。（業務委託の契約金額ではない。）
6	給食利用者の把握	定期的に利用者の身体状況を把握している場合に「有」とし、把握した年月を記入する。 (1) 身体状況 ・体格 BMI等で、肥満・やせを判定し、その人数を利用者数で除した百分率（整数、端数は四捨五入）で記入する。 ＊BMI〔体重(kg)/身長(m) ² 〕を基準とする場合、目標とするBMIの範囲（P8参照）を参考にする。 ・高血圧・脂質異常症・高血糖 定期健診の結果、要経過観察等以上の人数の割合を記入する。 (2) 献立への配慮 把握した身体状況を献立の作成に配慮しているか、該当する項目に○をつける。 「有」の場合はその内容を記入する。（例：野菜の量を増やす・魚の回数を多くする・ご飯の調節ができる・減塩食にできる） (3) 身体活動レベル・年齢区分・性別人数 利用者の身体活動レベル（P10参照）、年齢区分、性別ごとに人数を記入する。
7	献立の提示	・展示〔実物・写真〕にはフードモデルも含む。 ・カフェテリアやバイキングの場合は、モデル的な料理の組合せの提示について、該当する項目に○をつける。
8	栄養成分表示	ビタミン・ミネラル等は「6.」に具体的な内容（例：ビタミンA・カルシウム）を記入する。
9	喫食調査	嗜好調査を実施している場合は、その内容を（ ）に記入する。
10	栄養情報の提供	ホームページ等の場合は、「5.」に記入する。
11	栄養マネジメント強化加算	都道府県知事に届け出た指定障害者支援施設等が対象。
12	経口移行加算 経口維持加算 療養食加算	報告月における算定の有無に関わらず、体制が整備されていれば「有」とする。 都道府県知事に届け出た指定障害者支援施設等が対象。
13	非常時危機管理対策（食関連）	食品等の備蓄は、施設及び敷地内で保管している場合のみ「有」とする。 施設間連携は、非常時における人員の派遣や物資の提供等について、他施設と協定等が締結されている場合に、「有」とする。
14	栄養管理における課題	現在の栄養管理における課題を記入する。
15	課題に対する改善策、工夫事項	上記の課題に対する改善策や工夫事項について記入する。

(裏面)

報告月において最も提供数の多かった食事の内容を記入する。

※1 当該食事の対象とする性別年齢区分を記入する。

※2 該当する項目に○をつける。(朝食と夕食を提供している場合は、朝食と夕食に○をつける。)

※3 上記以外に設定している食事の種類があれば、種類数を記入する。

	項目	内容・留意事項
1	基準設定	給与栄養目標量及び食品群別目標量を設定した年月を記入する。
2	栄養価計算の基準	給与栄養量を算出する際に使用した日本食品標準成分表の年版を記入する。
3	給与栄養目標量及び 給与栄養量	・栄養素等別に1人1日当たりの目標量と給与量を記入する。記入における小数点以下の桁数の取り扱いについては、最新の日本食品標準成分表に準ずる。(端数は四捨五入) なお、算出していない場合は「－」を記入する。 ・食塩相当量は、下記の計算式で算出する。 食塩相当量(g) = ナトリウム(mg) × 2.54 ÷ 1,000
4	食品群別目標量及び 給与量	食品群別に1人1日当たりの目標量と給与量を整数(端数は四捨五入)で記入する。(ただし、食塩については、小数点第1位まで記入する。)
5	エネルギー・産生栄養素 バランス	各栄養素の総エネルギーに占める割合を、整数(端数は四捨五入)で記入する。エネルギーの算出方法については、最新の日本食品標準成分表に準ずるが、エネルギー・産生栄養素バランスの算出については、下記による方法でも差し支えない。 ① たんぱく質(%エネルギー) = たんぱく質(g) × 4 / 総エネルギー(kcal) × 100 ② 脂質(%エネルギー) = 脂質(g) × 9 / 総エネルギー(kcal) × 100 ③ 炭水化物(%エネルギー) = 100 - (① + ②)
6	上記の食種における栄養補 助食品等の使用状況	一般的な食品以外に栄養補助食品やサプリメント等を使用している場合に記入する。栄養補助食品等の名称、栄養素名(カルシウム・鉄・ビタミンB₁等)、使用回数(週又は日当たりの回数。該当する項目に○をつける。)、1回当たりの使用量(g)及び、給与量(単位を記入)を記入する。 ※ 報告する食種において、使用する食品として設定されている栄養補助食品等のみを記入する。個別使用は含めない。

特定給食施設栄養管理報告書（児童福祉施設・幼稚園等）（ 年 月分）

施設名				設置者（職・氏名）			
所在地				給食責任者（職・氏名）			
電話番号				作成者（職・氏名）			
FAX番号				連絡先 電話番号：			
e-mail							

【施設種別】		1.児童福祉施設 2.幼稚園 3.認定こども園（型）		委託業者	名称 代表者 所在地 電話番号								
給食従事者数（人）		施設			委託業者								
		常勤	常勤以外		常勤	常勤以外							
	管理栄養士						【施設外調理】 1.有（ ） 2.無						
	栄養士						【給食管理等について検討する会議】 1.有（ 回／年） 2.無						
	調理師						施設長・管理栄養士・栄養士・保育士・保健師・看護師・事務職 調理師（員）・その他（ ）						
調理員					委託業者 管理栄養士・栄養士・事務職・調理師（員）・その他（ ）								
その他													
合計					朝食 昼食 夕食 間食 その他 合計								
【給食利用者の把握】 1.有（ 年 月現在） 2.無					食数	児童							
						職員							
					食材料費（円／人）	児童							
						職員							

身体状況	3歳以上の肥満とやせの割合		評価方法		年齢区分・性別人数						
	肥満	%	1.幼児身長体重曲線（ 年）			歳	歳	歳	歳	歳	歳
	やせ	%	2.その他（ ）		男性						
	アレルギー	1.有（ 除去・代替 ） 2.無		女性							

【栄養成分表示】	1.エネルギー 2.たんぱく質 3.脂質 4.炭水化物 5.食塩相当量 6.（ ） 7.無							
【栄養情報の提供】	1.給食日より 2.試食会 3.ポスター 4.（ ） 5.無							
【食育の取組み】	対象・内容			【献立の提示】	1.有（ 献立表・展示〔実物・写真〕・〔 〕） 2.無			
【栄養管理の評価】				【手作りおやつ】	頻度	回／月		

【非常時危機管理対策】	食中毒マニュアルの整備 1.有 2.無		災害時マニュアルの整備 1.有 2.無	
（食関連）	食品等の備蓄 1.有（ 回分） 2.無		施設間連携 1.有 2.無	

【基準設定】（ 年 月）		食品群	目標量	給与量	食品群	目標量	給与量
【栄養価計算の基準】 日本食品標準成分表 年版			（g）	（g）		（g）	（g）
男性（ ）歳 女性（ ）歳 3歳以上児の主食の提供（有・無）	穀類			藻類			
報告月の食事区分（ 昼食＋間食 ・ 1日 ・ その他（ ））	いも及びでん粉類			魚介類			
栄養素（単位） 給与栄養目標量 給与栄養量	砂糖及び甘味類			肉類			
エネルギー（kcal）	豆類			卵類			
たんぱく質（g）	種実類			乳類			
脂質（g）	野菜類 緑黄色			油脂類 植物性			
カルシウム（mg）	その他			動物性			
鉄（mg）	果実類			菓子類			
ビタミンA（μgRAE） （レチノール活性当量）	きのこ類						
ビタミンB ₁ （mg）	エネルギー産生栄養素バランス（%エネルギー）		目標率		給与率		
ビタミンB ₂ （mg）							
ビタミンC（mg）	たんぱく質						
食物繊維（g）	脂質						
食塩相当量（g）	炭水化物						

▶ 記入要領（主な項目のみ）

	項目	内容・留意事項
1	施設種別	認定こども園は、（ ）内に幼保連携型・幼稚園型・保育所型のいずれかを記入する。
2	給食従事者数	(1) 従事者数を施設・委託業者別、常勤・常勤以外別に記入する。施設外調理の場合は、施設内で従事する者の人数のみ記入する。 (2) 上記について管理栄養士、栄養士、調理師は、有資格（登録）者とする。 なお、管理栄養士である者は、栄養士に含めない。また、栄養士・調理師等の資格を併せ持つ場合は、業務内容から判断し、いずれか主なものに記入する。 (3) 複数の施設に勤務する場合は、主として勤務する施設で計上する。
3	施設外調理	「有」の場合は、クックチルや弁当等、その具体的な内容を記入する。
4	食数	朝食・昼食・夕食・間食・その他（夜食等）の1日当たりの平均食数(報告月の総食数を給食日数で除した値)を園児・職員別に整数（端数は四捨五入）で記入する。
5	食材料費	1人当たりの食材料費(消費税含む)を食事ごとに整数（端数は四捨五入）で記入する。ただし、2食以上を提供し食事ごとに食材料費を算出していない場合は、合計欄に1日分の食材料費を記入する。利用者によって食材料費が異なる場合は、主たる利用者の食材料費を記入する。（業務委託の契約金額ではない。）
6	給食利用者の把握	（P.69-71 参照）
7	栄養成分表示	ビタミン・ミネラル等は「6.」に具体的な内容（例:ビタミンA・カルシウム）を記入する。
8	栄養情報の提供	ホームページ等の場合は、「4.」に記入する。
9	食育の取組み	実施している食育の取組みについて、対象・内容等を具体的に記入する。
10	栄養管理の評価	栄養管理について現状を分析し、今後の課題や取り組むべき事項等を記入する。
11	献立の提示	展示〔実物・写真〕にはフードモデルも含む。
12	手作りおやつ	報告月の回数を記入する。
13	非常時危機管理対策（食関連）	食品等の備蓄は、施設及び敷地内で保管している場合のみ「有」とする。 施設間連携は、非常時における人員の派遣や物資の提供等について、他施設と協定等が締結されている場合に「有」とする。

	項目	内容・留意事項
14	基準設定	給与栄養目標量及び食品群別目標量を設定した年月を記入する。
15	栄養価計算の基準	給与栄養量を算出する際に使用した日本食品標準成分表の年版を記入する。
16	給与栄養量・食品群別 給与量の区分	最も提供数の多い食事の年齢区分について記入する。 (例) 男性(3-5)歳、女性(3-5)歳 報告月の食事区分(<u>昼食+間食</u>)・1日・その他()
17	給与栄養目標量及び 給与栄養量	・栄養素等別に1人1日当たりの目標量と給与量を記入する。記入における小数点以下の桁数の取り扱いについては、最新の日本食品標準成分表に準ずる。 (端数は四捨五入) なお、算出していない場合は「-」を記入する。 ・食塩相当量は、下記の計算式で算出する。 食塩相当量(g) = ナトリウム(mg) × 2.54 ÷ 1,000
18	食品群別給与目標量及び 給与量	食品群別に1人1日当たりの目標量と給与量を整数(端数は四捨五入)で記入する。
19	エネルギー・産生栄養素 バランス	各栄養素の総エネルギーに占める割合を、整数(端数は四捨五入)で記入する。 エネルギーの算出方法については、最新の日本食品標準成分表に準ずるが、エネルギー・産生栄養素バランスの算出については、下記の方法でも差し支えない。 ① たんぱく質(%エネルギー) = たんぱく質(g) × 4 / 総エネルギー(kcal) × 100 ② 脂質(%エネルギー) = 脂質(g) × 9 / 総エネルギー(kcal) × 100 ③ 炭水化物(%エネルギー) = 100 - (① + ②)

給食利用者の把握

定期的に利用者の身体状況を把握している場合に「有」とし、把握した年月を記入する。

(1) 身体状況

① 3歳以上の肥満とやせの割合

以下に示す評価方法等で肥満・やせを判定し、その人数を利用者数で除した百分率(整数、端数は四捨五入)で記入する。

【幼児(3歳以上6歳未満)の肥満・やせの評価方法】

- ・幼児身長体重曲線(性別・身長別標準体重)を用いる。
 肥満度 = [実測体重(kg) - 身長別標準体重(kg)] ÷ 身長別標準体重(kg) × 100
 肥満: 肥満度 + 15%以上 やせ: 肥満度 - 15%以下
- ・身長別標準体重は、平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づき、次式により算出する。
 (身長はcm)
 男児 標準体重 = $0.00206 \times \text{身長}^2 - 0.1166 \times \text{身長} + 6.5273$
 女児 標準体重 = $0.00249 \times \text{身長}^2 - 0.1858 \times \text{身長} + 9.0360$
 (既に平成22年乳幼児身体発育調査や令和5年乳幼児身体発育調査の結果、その他の方法により算出している場合はそれでも差し支えない)

* 3歳以上の幼児の肥満度判定区分簡易ソフト

国立保健医療科学院 <http://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/hatsuiku/>

身長別標準体重の早見表（3歳以上6歳未満の幼児）
平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づく

身長 (cm)	男子			女子		
	標準体重(kg)	やせ※1	肥満※2	標準体重(kg)	やせ※1	肥満※2
70	8.5	7.2	9.7	8.2	7.0	9.5
71	8.6	7.3	9.9	8.4	7.1	9.7
72	8.8	7.5	10.1	8.6	7.3	9.9
73	9.0	7.6	10.3	8.7	7.4	10.1
74	9.2	7.8	10.6	8.9	7.6	10.3
75	9.4	8.0	10.8	9.1	7.7	10.5
76	9.6	8.1	11.0	9.3	7.9	10.7
77	9.8	8.3	11.2	9.5	8.1	10.9
78	10.0	8.5	11.5	9.7	8.2	11.1
79	10.2	8.6	11.7	9.9	8.4	11.4
80	10.4	8.8	11.9	10.1	8.6	11.6
81	10.6	9.0	12.2	10.3	8.8	11.9
82	10.8	9.2	12.4	10.5	9.0	12.1
83	11.0	9.4	12.7	10.8	9.2	12.4
84	11.3	9.6	13.0	11.0	9.3	12.6
85	11.5	9.8	13.2	11.2	9.5	12.9
86	11.7	10.0	13.5	11.5	9.8	13.2
87	12.0	10.2	13.8	11.7	10.0	13.5
88	12.2	10.4	14.1	12.0	10.2	13.8
89	12.5	10.6	14.3	12.2	10.4	14.1
90	12.7	10.8	14.6	12.5	10.6	14.4
91	13.0	11.0	14.9	12.7	10.8	14.7
92	13.2	11.3	15.2	13.0	11.1	15.0
93	13.5	11.5	15.5	13.3	11.3	15.3
94	13.8	11.7	15.8	13.6	11.5	15.6
95	14.0	11.9	16.1	13.9	11.8	15.9
96	14.3	12.2	16.5	14.1	12.0	16.3
97	14.6	12.4	16.8	14.4	12.3	16.6
98	14.9	12.7	17.1	14.7	12.5	17.0
99	15.2	12.9	17.5	15.0	12.8	17.3
100	15.5	13.1	17.8	15.4	13.1	17.7
101	15.8	13.4	18.1	15.7	13.3	18.0
102	16.1	13.7	18.5	16.0	13.6	18.4
103	16.4	13.9	18.8	16.3	13.9	18.8
104	16.7	14.2	19.2	16.6	14.1	19.1
105	17.0	14.4	19.5	17.0	14.4	19.5
106	17.3	14.7	19.9	17.3	14.7	19.9
107	17.6	15.0	20.3	17.7	15.0	20.3
108	18.0	15.3	20.7	18.0	15.3	20.7
109	18.3	15.5	21.0	18.4	15.6	21.1
110	18.6	15.8	21.4	18.7	15.9	21.5
111	19.0	16.1	21.8	19.1	16.2	22.0
112	19.3	16.4	22.2	19.5	16.5	22.4
113	19.7	16.7	22.6	19.8	16.9	22.8
114	20.0	17.0	23.0	20.2	17.2	23.2
115	20.4	17.3	23.4	20.6	17.5	23.7
116	20.7	17.6	23.8	21.0	17.8	24.1
117	21.1	17.9	24.2	21.4	18.2	24.6
118	21.5	18.2	24.7	21.8	18.5	25.0
119	21.8	18.6	25.1	22.2	18.9	25.5

※1 や せ：やせすぎ、又はやせ（表中の各身長における数値以下が該当）

※2 肥 満：ふとりぎみ、ややふとりすぎ、又はふとりすぎ（表中の各身長における数値以上が該当）

【児童・生徒の肥満・やせの評価方法】

学校保健統計調査方式（性別・年齢別・身長別標準体重）による肥満度判定方法を用いる。

肥満度（過体重度）

$$= (\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}) / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100(\%)$$

肥満傾向：肥満度 + 20%以上 やせ傾向：肥満度 - 20%以下

身長別標準体重を求める係数と計算式

$$\text{身長別標準体重(kg)} = a \times \text{実測身長(cm)} - b$$

年齢 \ 係数	男		女	
	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.750
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264
15	0.766	70.989	0.560	37.002
16	0.656	51.822	0.578	39.057
17	0.672	53.642	0.598	42.339

（資料） 児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂（公益財団法人日本学校保健会）

② 評価方法

幼児（3歳以上6歳未満）の肥満・やせの評価方法に用いた項目に○をつける。

「1.幼児身長体重曲線」の場合は、（ ）に年次を、「2.その他」の場合は、（ ）にその方法を記入する。

③ アレルギー

該当する項目に○をする。「有」の場合は、該当する項目に○をする。それ以外の対応を行っていれば、具体的な内容を記入する。

【18-49歳の肥満・やせの評価方法】

$$\text{BMI} = \text{体重 (kg)} / \text{身長 (m)}^2$$

18-49歳の目標とするBMIの範囲は18.5-24.9 日本人の食事摂取基準（2025年版）

(2) 年齢区分・性別人数

利用者の年齢区分を記入し、性別ごとに人数を記入する。

（区分が多い場合は、線を引き区分を増やして記入する。）